

海外安全対策情報

【2023年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが徹底されており、自分が飲酒後運転しないことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 凶悪・粗暴事件関連

ア マンション警備員が配達員を刺殺（青島市）

12月5日午後10時頃、李滄区のマンション警備員である趙某（54歳男）は、配達員である李某（32歳男）と口論となり、所持していたナイフで李某を刺して殺害した。事件後、趙某は現場で警察に拘束され刑事拘留されている。ネット情報によれば、被害者は食事を届けるため、バイクに乗車したままマンション敷地内に入ろうとしたところ、それを止めようとした同マンション警備員の犯人と口論となり、ナイフで何度も刺されたという。

海外安全対策情報

イ 27年前の殺人犯を検挙（濱州市）

濱州市公安局濱城分局は10月、27年間逃亡を続けた殺人犯、肖某亮を検挙した。肖某亮は、1996年1月、恨みから梁氏一家3人を殺害したとして、父や兄とともに手配されており、翌月兄が逮捕されて死刑が執行され、同年9月には父が徳州市で逮捕されていたが、一人行方がわからなくなっていた。警察は、情報を全面的に整理し、広西警察と協力するなど事案解明に尽力した。

(2) 窃盗事件関連

ア スーパーでタバコと現金を盗んだ男を当日逮捕（青島市）

嶗山公安分局刑事大隊と北宅派出所は10月8日、スーパーの窓をこじ開けて侵入し、レジの現金1万余元りとタバコ400カートン計13万元相当を盗んだ男を被害当日のうちに検挙し、男の自宅から被害品も全て押収した。当日は国慶節の旅行時期も過ぎて現場付近に外部からの旅行者も少なかったところ、河北ナンバーの乗用車が停車していたとの目撃情報があった。そこで同ナンバーを調べ、所有者は蘇某という窃盗の前科のある男であり、現在は城陽区の某小区門前に車両を停めていることが判明したことから、午後5時頃に金を数えながら現れた蘇某を現場で検挙した。男の供述によれば、2か月前に交際者と青島に来てアルバイトをしていたが、早く金を稼ぎたかったことから犯行に及んだという。

イ 車上狙いで現金10万元の被害（青島市）

青島市公安局海岸警察支隊及び城陽公安分局は12月30日、青島科学技術館付近の駐車場に停めてあった車から現金10万元を盗んだとして、被疑者韓某を逮捕し、自宅から被害金を押収した。被害者によれば、元旦に実家へ帰省して両親に渡そうと現金を準備したが、急に仕事が入り車両の助手席に現金が入った書類ケースを置いたまま離れてしまったという。被疑者は当日、仕事から帰宅途中に窓が半開きになっている車を発見し、近づくと助手席に書類ケースがあったことからそのまま手を伸ばして持ち去っていた。

(3) 詐欺事件関連

ア 「雲視聴」（画面共有アプリ）による詐欺が多発（済南市）

済南歴城警察は10月12日、電話口の相手に言われるがまま「雲視聴」アプリをダウンロードしたところ、口座から17.6万元が無くなったとの男性からの通報を受け現場に急行した。到着時、被害者は犯人と通話中であったが、警察官が電話を替わって返金しなければ刑事責任を追及する旨を犯人に告げたところ、夜になって被害者の口座に返金があったという。最近では、画面共有アプリ「雲視聴」を悪用し遠隔操作で金を振り込ませる電信詐欺が山東省内各地で多発しており、一度に18万元被害に遭った事件も発生している。警察は、振込操作が行われて一定時間経過すると、被害回復が極めて難しくなると話している。

イ スマホを購入後、中古品にすり替え返品（青島市）

城陽公安分局棘洪灘派出所は10月13日、某宅配業者から返品されたスマホがすり替えられる事件が多発しているとの通報を受け捜査を開始し、計8回合計2.3万余元りのスマホをすり替えたとして、男を詐欺容疑で刑事拘留した。警察が宅配システムを調べたところ、返品スマホと発送品ではSNコードとシリアル番号が違っており、8月末からスマホやルーター等を何度も返品し、毎回住所を変

海外安全対策情報

更している男に事情聴取したところ、容疑を認めたといい。男は、“ネットショッピング7日間無償返品制度”を利用し、中古のスマホを購入して新品同様に磨き上げてからすり替えていた。

ウ フライト変更・キャンセル名目の詐欺が増加（全国）

あるネットユーザーは10月17日、自己のフライト情報が流出して詐欺に遭い11万元取られたとの体験談を微博にアップし話題を呼んだ。同人によれば、航空会社スタッフを名乗る人物から電話があり、「フライト遅延のため300元の賠償金を支払う、支付宝で口座に入金ができない、“雲視聴”という会議アプリをダウンロードして欲しい。」と言われ従ったところ、同アプリによって口座内の11万元を抜かれてしまったという。専門家は、フライト変更・キャンセル名目の詐欺は昔から存在するが手口が巧妙化しており、北ミャンマー等で組織的かつ大規模に行われていると指摘する。また、画面共有機能を有するアプリは“雲視聴”以外にも“全視通”や“雲視通”等がある。

エ 北ミャンマーから詐欺犯人を移送（山東省）

山東省公安厅は10月18日、北ミャンマー詐欺組織撲滅行動の開始以来最大となる261人の容疑者を同省へ移送した（14日に帰国した2,349人の一部）。北ミャンマー詐欺組織は、これまで4,666人が強制送還されており、本年8月以来の全国電信ネット詐欺事件は24%減少している。

昨今、詐欺の手法は益々巧妙化している。某女性は、銀行から20万元貸付可能とのショートメールが来たので応募したところ、QRコードから銀行口座番号の入力等を求められ、最終的に口座凍結の解除名目で15,000元を騙し取られた。また別の女性はネットで炊飯器を購入したところ、プラットフォームからVIP会員に登録されたので毎月600元自動引き落としになると告げられ、解除のため銀行口座内の13万元全てを相手に振込んだが返金されることはなかった。

知らない番号からの電話や海外からの電話に注意するとともに、もし12381から詐欺防止ショートメールを受け取った場合は、電信ネット詐欺に遭っている可能性があるため直ちに電話を切る。個人情報等を安易に漏らさず、もし詐欺被害に遭ってしまったら全国統一反詐欺電話96110に連絡することが必要だ。

（4）薬物・性犯罪関連

ア わいせつ映像のネット配信グループを摘発（青島市）

萊西市公安局は近日、ネット上でわいせつな映像を配信し、多額の利益を得ていたグループを摘発した。同局ネット警察大隊は7月、多数のチャットグループが、わいせつ映像の生配信を行っているのを発見して捜査を開始、青島市のネット部門と協力して4か月間で20省40都市を回り、被疑者3グループ57人を逮捕、携帯電話80台とパソコン30台を押収した。

（5）交通・事故関連

ア 保税區倉庫から出火（青島市）

12月30日午後7時37分、20号ゴム88枚を保管する青島市保税區の某社倉庫から火災が発生し、火は14時間燃え続けたが被害者は出ていない。20号ゴムはタイヤの主原料であり、青島が全国でも主要な交易地となっている。また、同保税區では11月6日にも火災が発生しており、発生場所となった6,000㎡の倉庫には綿花やプラスチック、ゴムが保管されていた。

(6) その他

ア オリピックセンターに猿が出没（青島市）

11月14日、市南区オリピックセンターに1匹の猿が出没し、市民の関心を集めていたところ、16日に市職員によって捕獲され保護センターへ送られた。専門家は、「猿は国家2級保護動物であり、広く野生に生息しているがペットとして飼われている場合もある。以前、李村河で2匹のワニが発見されたが、これはペットが捨てられたものであった。猿には近付くべきではなく、ペットを勝手に捨ててはいけない。」と話した。青島市では、過去にも李滄区、市北区等で猿が目撃されている。

イ 電子計算機情報システム破壊罪（青島市）

城陽公安分局は11月21日、解雇された会社のネットショッピングサイトから多数の商品リンクを削除したとして被疑者王某を電子計算機情報システム破壊罪で刑事拘留した。王某は本年3月に入社したが、業務能力が伸びず販売実績も悪いことから、会社から警告の後解雇されたが、在職時にこっそりと会社のアカウントとパスワードを記録しており、解雇後酒の勢いで犯行に及んだという。王某は同社の過去数年間の業績や、商品説明、ユーザー評価等も削除し、会社のアカウント情報も全て書き換えており、被害額は数百万元に上る。

4. 治安対策等報道

(1) 各種統計

ア 青島市における本年の電信ネット詐欺事件数、検挙者数はともに6割増

11月2日、青島市公安局の発表によれば、本年1～10月に検挙した電信ネット詐欺事件は5,129件で去年同期比64%増、検挙者数は4,497人で同63%増であった。遮断した詐欺電話は1,902件で、詐欺資金13.59億元を凍結、被害者への返還金は2,700万元であった。また、手口としては5大詐欺類型である“偽レビュー”“投資詐欺”“不正貸付け”“消費者センター偽装”“司法機関偽装”が突出しており、詐欺グループは高収入を看板に人員を募集して出国させ、仮想通貨やGOIP等、犯行道具や手口は益々進化しており、80%のアジトが国外に存在するという。

イ 青島市における本年の刑事事件摘発は1.7万件、検挙者数は3万人以上

11月14日、当局の発表によれば、青島市では本年、刑事事件を1.7万件摘発して3万人以上の被疑者を検挙した。捜査技術の発展により、49件の殺人事件のうち、8件が20年以上前の殺人であった。暴力犯罪8類型（殺人・傷害・強姦・強盗・薬物販売・放火・爆発・毒を盛る）は前年同期比14.4%減少したが、経済犯罪は同10.6%増加、売春や賭博事案も同25.6%増加した。飲酒運転を2.1万件摘発し、道路環境整理のため730台余りの廃棄車両を処分、248.5万件の違法駐車を処理しており、交通事故件数、死亡者数ともに減少している。

ウ 山東省における本年の電信ネット詐欺による検挙者は4.97万人で47.3%増

11月27日、山東省政府新聞弁公室の発表によれば、本年の電信ネット詐欺事件は4.04万件で去年同期比34.4%増、検挙者数は4.97万人で同47.3%増であった。各通信会社は、詐欺使用が疑われる電話番号を凍結し、2.3万件の情報提供を行う

海外安全対策情報

ことでアジト 2,133 か所、被疑者 5,229 人が検挙された。

山東省通信管理局によれば、現在は一日平均で 2.2 万件の架電、5.1 万件のショートメール、4.4 万個のネットサイトを遮断している。また、今年 10 月までに一日平均 8,000 件、計 237.7 万件の SIM カードを凍結した。さらに、中国人民銀行山東支局によれば、全省で累計 6.3 億口座を調査して 3.5 万の事件関連口座を発見、公安と協力して 8.9 万口座 145.4 億元を凍結したという。

エ 山東省におけるネット犯罪摘発数は 1.6 万件

12 月 5 日、山東省政府新聞弁公室の発表によれば、省公安厅が本年摘発したネット犯罪は 1.6 万件、検挙被疑者は 2.3 万人であり、各種ネット上の違法投稿を 10.1 万件削除した。9,500 のサイトを検査して 9,330 の危険箇所を発見し、ネット環境の安全を守った。

オ 山東省における刑事事件摘発数は 14.9 万件

12 月 12 日、山東省副省長及び同省公安厅の李偉庁長の紹介によれば、1~11 月における刑事事件摘発数は 14.9 万件であり、夏の取締期間では 6.1 万人の被疑者を検挙し、同期間の 8 類型の刑事事件発生数は前年同期比 10.93%減少した。

※ 8 類型~故意殺人、故意傷害、強姦、強盗、薬物密売、放火、爆発、投毒

また、交通事故件数、死亡者数、死者 3 人以上の重大事故数は、2019 年比でそれぞれ 29.41%、32.81%、44%ずつ減少した。

カ 全国鉄道警察が年内に発見した被誘拐者は 300 余名

公安部は 2023 年、鉄道警察による取締を強化しており、12 月 10 日までに刑事治安事件を 4.9 万件検挙し、ネット手配者 2.1 万人を拘束、930 キロ余りの薬物を押収し、誘拐された女性や子供 300 余名を発見救出した。

キ 山東省における本年の火災発生件数は 7.79 万件で去年より 14.7%増

11 月 15 日、山東省政府新聞弁公室の発表によれば、本年 1~10 月に全省で発生した火災は 7.79 万件であり、昨年同期比で 14.7%増加、経済損失も 5.6%増加した。死亡者数は 44.2%減少した。1~3 月は昨年より 45.12%増えていたが、その後安定した。農村火災が 4.67 万件で全体の 59.95%を占めており、住居火災は 28.63%であった。火災原因として電気・タバコ・消し忘れが多く、最も多い電気を原因とするものが 26.96%を占めた。

(2) 各種対策

ア 軽微な刑事事件を“ワンストップ”処理で効率化（済南市）

済南市公安局市中分局は本年、区裁判所、検察院、司法局と協力して軽微な刑事事件についての捜査、起訴、裁判“ワンストップ”即決センターを開設し、効果を発揮している。これまでに 10 回開廷して 20 件 25 人を審理し、90%が罪を認めた。開廷平均時間は 30 分で、訴訟効率は 30%上昇している。また、済南市事件処理プラットフォームは、案件のリアルタイムネット共有により移送時間等を短縮して軽微事件の集中効率化処理を実現し、35 件を 1 件平均 20 日で処理した。

イ 毎年 11 月 14 日午前 10 時に防空防災警報（青島市）

青島市政府は、11 月 14 日午前 10 時から 20 分間、市内全域で防空防災警報の吹鳴訓練を実施する。青島テレビ台や地下鉄、公共機関等において警報が鳴り、例年同

海外安全対策情報

日に実施されるが市民は通常生活を続けて構わない。警報の種類は次のとおり。

① 予兆警報

空襲の予兆がある際に、36 秒の吹鳴、24 秒の停止を 3 回繰り返す。ガスや電気を切り必要な生活用品を携帯して避難場所に向かう。

② 空襲警報

空襲が確実又はすでに空襲が開始されている際に、6 秒吹鳴、6 秒停止を 15 回繰り返す。直ちに避難場所へ向かうか、5 階以上の鉄筋コンクリート構造物 1 階の廊下や階段下、トイレ等に避難して伏せる。

③ 解除警報

空襲の危険が消滅した際に、3 分連続で吹鳴。

④ 災害警報

重大自然災害や有毒有害物質の発生が予測される時に、15 秒吹鳴、10 秒停止、5 秒吹鳴 10 秒停止を 3 回繰り返す。市民に各種準備を促す。

ウ 新版外国人永住者身分証「五星カード」を正式発行（全国）

12 月 1 日、新版外国人永住者身分証である「五星カード」が正式に発行され、初めに経済や教育、科学技術等の分野で中国の発展に貢献している 50 人の外国人が取得した。同カードは国家移民管理局が発行し、中国に永住権を持つ外国人が単独で身分証として使用できるものであり、旅券の再提示は不要となる。

※ 申請要件

- ① 連続して 3 年安定した投資を行い、かつ納税記録が良好
- ② 副総経理、副教授、副研究員等の職称または同待遇を連続 4 年以上受け、うち累計 3 年以上中国に居住し、かつ納税記録が良好
- ③ 中国に重要で突出した貢献をし、国が特別に必要とする
- ④ 上記の配偶者及び満 18 歳未満の未婚子女
- ⑤ 中国人または永住外国人の配偶者で、婚姻関係と居住事実が 5 年以上あり、毎年 9 か月以上は中国に居住し、かつ安定した生活保障と住居を所持する
- ⑥ 国外に直系親族がなく、国内の直系親族に頼る 60 歳以上の者で、5 年以上毎年 9 か月以上居住する安定した生活保障と住居を所持する

※ カード使用の範囲

- ① 出入国が自由でビザ申請が不要
- ② 国内で飛行機、列車、船等の乗車券を購入、搭乗可能
- ③ 国内ホテルに宿泊可能
- ④ 銀行口座の開設、財産登録、訴訟等の社会活動に使用可能

エ 実名登録無しのドローン飛行を処分（全国）

国務院、中央軍事委員会は「ドローン飛行管理暫定条例」を公開し、2024 年 1 月 1 日から施行する。同条例 47 条により、実名登録せずに民用ドローンを飛行させた場合、公安機関は是正指示を行い、200 元以下の罰金を科すことができる。悪質な場合は 2000 元以上 2 万元以下の罰金となる。また、ドローンのタイプ、重量を問わず、所有者は実名登録が必要となる。